

第8回

日本先進医工学ブタ研究会

3年ぶりに語り合しましょう

会期 2022年10月21日(金)・22日(土)

会場 川崎生命科学・環境研究センター(LiSE)大会議室
神奈川県川崎市川崎区殿町3丁目25-13

プログラム

10月21日 (13:00-17:30)

13:00~13:05 >> 開会の辞

13:05~13:55 >> シンポジウム「実用化を目指した移植・再生医療研究」 座長：佐原 寿史

- 1.ブタを用いた移植研究の現状と課題 佐原 寿史 (鹿児島大学先端科学研究推進センター 生命科学動物実験ユニット 大動物研究推進部門)
- 2.呼吸器再生研究における異種脱細胞化組織骨格の使用と課題 土谷 智史 (富山大学学術研究部医学系 呼吸器外科)
- 3.グチョウ頸動脈由来脱細胞化小口径血管の実用化研究 山岡 哲二 (国立循環器病研究センター 研究所 生体医工学部)

13:55~14:40 >> 特別講演1.「異種移植用遺伝子改変DPFブタの生産」

座長：佐原 寿史 長嶋 比呂志 (明治大学バイオリソース研究国際インスティテュート/株式会社 ポル・メド・テック)

14:50~15:30 >> 一般演題1.「医用動物の開発と応用」

座長：大西 彰

- 1.LDL受容体欠損ミニブタにおける高脂肪食負荷が血液検査値に及ぼす影響 山口 賢汰 (日本大学生物資源科学部 動物資源化学科 動物生殖学研究室)
- 2.ベッカー型筋ジストロフィー心筋症豚モデルとその摘出灌流心を用いたex vivo評価系 志賀 崇徳 (麻布大学獣医学部 獣医学科 病理学研究室)
- 3.Generation of A New Strain of Immunodeficient Mice That Accept Pig Cells Munkh-Erdene Natsagdorj (自治医科大学分子医科学研究センター 再生医療部門)

15:45~16:30 >> 招請講演1.「いよいよ臨床応用が視野に入った異種移植」 座長：長嶋 比呂志 山田 和彦 (ジョンス・ホプキンス大学)

16:45~17:30 >> 招請講演2.「免疫不全動物の現状と課題」

座長：大西 彰 伊藤 守 (公益財団法人実験動物中央研究所)

17:45~19:00 >> 交流スペース (会場内)

10月22日 (8:45-12:00)

8:00~ 8:45 >> 世話人会

(世話人会・名誉会員のみ：実験動物中央研究所1階レクチャールーム)

8:45~ 9:00 >> 研究会運営報告

9:00~ 9:30 >> 特別講演2.「米国における獣医学的ケア」

座長：堤 秀樹 内橋 真悠 (日本メドトロニック株式会社)

9:45~10:45 >> 一般演題2.「医用ブタの実験技術・管理」

座長：狩野 真由美

- 1.トレーラー型動物飼養保管・実験室 竹島 雅之 (株式会社ジェイテクト)
- 2.日本大学医学部医学研究支援部門における免疫不全ブタの飼養管理技術の工夫 川原 菜華 (日本大学生物資源科学部 動物資源科学科 動物生殖学研究室)
- 3.ふくしま医療機器開発支援センターにおける豚熱防疫体制運用の実際 橋本 亜壽加 (ふくしま医療機器開発支援センター)
- 4.ミニブタにおける各種投与および採血方法について 狩野 真由美 (株式会社日本バイオリサーチセンター)

11:00~11:45 >> 特別講演3.「医学生物学研究における中国市場のうねり」

座長：堤 秀樹 安倍 宏明 (マッシュ・バイオリソース・ジャパン株式会社)

11:45~11:55 >> 当番世話人および次期当番世話人の挨拶

11:55~12:00 >> 閉会の辞

10月21日~10月22日

企業展示 (自由閲覧)

〈研究会当番世話人〉 堤 秀樹 (公益財団法人 実験動物中央研究所)

〈研究会長〉 大西 彰 (日本大学生物資源科学部動物資源科学科 動物生殖学研究室)

〈事務局代表〉 佐原 寿史 (鹿児島大学先端科学研究推進センター 生命科学動物実験ユニット 大動物研究推進部門)



ご挨拶

第 8 回日本先進医工学ブタ研究会開催にあたって

当番世話人 堤 秀樹

公益財団法人実験動物中央研究所

新型コロナウイルスによる第 7 波感染拡大も収束の兆しが見えてきました。ここに漸く「3 年ぶりに語り合しましょう」をテーマに第 8 回日本先進医工学ブタ研究会を開催できることを大変嬉しく思います。

この 3 年の間に実験用ブタを取り巻く状況にも大きな変化がありました。その第一は異種移植の臨床適用です。国内に正確な情報が入らない中、本会名誉会長の山田和彦先生には招請講演 1 として米国における異種移植の最前線についてご紹介いただきます。また、招請講演 2 として弊所所長の伊藤守が免疫不全動物の現状と課題についてお話しさせていただきます。

長嶋比呂志先生には特別講演 1 として異種移植用遺伝子改変 DPF ブタの生産についてお話しいただき、特別講演 2 として内橋真悠先生には米国における実験用ブタの獣医学的ケアについて基本コンセプトをご紹介します。

この 3 年間で変化があったのはブタだけに留まりません。移植研究に用いられるカニクイザルの価格高騰が問題になっていますが、新型コロナウイルスによる流通網の停滞によるものでしょうか。安倍宏明先生には特別講演 3 としてその背景について解説いただきます。

今回は「実用化を目指した移植・再生医療研究」のテーマでシンポジウムを企画し、3 名の先生方にご講演を賜ります。その他にも一般演題やブース展示を予定していますので、忌憚のない意見交換や情報交換を通じて 3 年ぶりに交流を深めていただけたら幸いです。

会場のある地域は「キングスカイフロント」と呼ばれ、研究開発から新産業を創設するオープンイノベーション拠点として国際戦略特区、特定都市再生整備地域にも指定されています。本年 3 月には羽田東京国際空港側とを結ぶ多摩川スカイブリッジも開通したため、少しずつではありますがアクセスも良くなっています。川岸あるいは隣接するホテルからの空港景色はお勧めの撮影スポットですので、併せてお楽しみください。

最後になりますが、本研究会の開催にあたりご尽力いただいた会長の大西彰先生、事務局の佐原寿史先生および岩永健裕先生、会場設営と進行にご協力いただいた日本大学生物資源学部の皆様に厚く御礼申し上げます。